

2022年6月16日

各位

戸田建設株式会社

ISS社レポートに対する当社の見解について

戸田建設株式会社（以下「当社」）は、2022年6月29日開催予定の第99回定時株主総会第3号議案「取締役7名選任」のうち、候補者1.今井雅則および2.大谷清介の選任につきまして、議決権行使助言会社 Institutional Shareholder Services, Inc.（以下「ISS社」）が、反対推奨しているとの情報を入手いたしました。

つきましては、ISS社が反対推奨している内容について、当社の見解をご説明いたします。株主の皆様には、当社定時株主総会招集ご通知ならびに本内容をご確認いただき、当該議案へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. ISS社の反対推奨内容

ISS社では、同社の議決権行使助言基準のうち、政策保有株式保有基準について「過度な保有が認められる企業（政策保有株式の保有額が純資産の20%以上の場合）は、経営トップである取締役に対して反対を推奨する基準を2022年2月から導入する」としており、当社の同比率が、その定量基準に抵触することから、上記取締役候補者2名の選任議案に反対を推奨しています。

2. 当社の見解

当社の上述の取締役選任議案の内容は、以下の通りであります。

「当社取締役全員（12名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、新たに取締役7名の選任をお願いいたしたく存じます。当社取締役会が果たすべき役割は、TODAグループの持続的成長と企業価値の向上を念頭に、社会課題とその影響を示すとともに経営資源投入の方向性と活性度、執行状況を監督していくことにあると考えております。この度、この取締役会の監督機能を高めるために、社内取締役を減員し社外取締役が過半となる取締役会のメンバー構成といたしたく存じます。」

ISS社が選任に反対推奨している今井雅則氏と大谷清介氏は、この7名の取締役体制において欠くことのできない2名であり、それぞれ代表取締役会長、代表取締役社長としての実績を有しており、引き続き当社グループの持続的成長と企業価値の向上へ貢献することを期待することから、取締役候補者としております。

2名の略歴等については当社定時株主総会招集ご通知をご覧ください。

(https://www.toda.co.jp/ir/pdf/toda99_shoushuu.pdf#page=10)

なお、上述の取締役選任議案を原案通り可決いただいたのちは、当社取締役会は社外取締役が過半数を占める構成となります。その上で、ISS社が指摘する政策保有株式の縮減についても重要な経営課題と認識し、独立性の高い取締役会として公正に監督してまいります。

3. 政策保有株式に関する当社の方針等

当社は、株式保有リスクの抑制や資本の効率性の観点から、取引先企業との十分な対話を経た上で、政策投資を目的として保有する投資株式の残高縮減を基本方針としております。政策投資を目的として保有する投資株式については、収益性、取引先企業との関係強化及び当社の中長期的な企業価値の向上に資するかどうかの観点から、保有意義及び経済合理性を検証し、取引先企業との十分な対話を経た上で売却を進めております。政策保有株式残高の純資産に対する比率は、2021年3月末時点の55.3%から2022年3月末時点で51.4%となりました。保有先には、当社の長い歴史の中で50年以上にわたり継続して取引いただいている得意先も多く、また今後の工事受注への影響も考慮し、対話をしながら慎重に縮減を進めているところであります。

当社は、「中期経営計画2024 ローリングプラン（2022年5月公表）」において、政策保有株式を2022年度から2024年度までの3カ年で300億円（時価ベース）以上売却する方針としており、より一層の政策保有株式の残高縮減を進めてまいります。資本の効率性や財務健全性を維持した上での成長投資の原資確保の観点から、政策保有株式の売却を推し進めることとしております。

以上